



橋梁補修工事の品質向上に向けての試行について

現道に架かっている橋梁の補修工事の施工では、通行車輛や隣接地への配慮等制約条件が多く、又、工事の形態として小規模、多工種で煩雑、更には工事箇所が広範囲に点在するなど、工事の品質確保に向けた技術力の向上に配慮していく必要があります。

特に、橋梁の本体構造に影響する部位の補修にあたっては、設計計算等構造に精通した技術者を配置することが工事の品質確保につながります。

このため、本試行工事において下記の方法により、優れた技術者を確保することとしました。

【総合評価落札方式での取り組み】

元請け企業の配置予定技術者の評価において、「鋼橋製作実績」を新たな評価項目として追加します。

評価項目	評価基準	配点	評価点
鋼橋製作実績	実績有り	5.0	／5.0
	実績無し	0.0	

【下請け企業等への義務付け】

鋼橋製作実績又は土木鋼構造診断士の資格保有者の配置を特記仕様書に義務づけます。

第〇条 工事内容とその実施条件

1) 鋼橋の補修

鋼橋補修の施工に際しては、下記のいずれかの条件を満たすこと。

- ①下請け企業を選定する場合は、元請けとして鋼橋本体の製作(設計照査を伴わない部材のみの製作は除く)実績を有する企業を選定する。
- ②下請け企業の技術者は、鋼橋の補修期間中、鋼橋本体の製作(設計照査を伴わない部材のみの製作は除く)に元請けの技術者として従事した経歴を有する者を配置する。
- ③鋼橋の補修期間中、土木鋼構造診断士の資格を持つ者を配置する。

【試行工事】

下記の工事において試行します。なお、現時点での予定であり実際に発注する工事名称が異なる場合や、試行を取りやめる場合があります。

工事名等	公告予定
平成24年度 奈半利管内橋梁補修(その2) 工事	平成24年7月上旬

＜問合せ先＞ 国土交通省 四国地方整備局 TEL: (087) 851-8061
技術開発調整官 木村 正己 (内線3120)
技術管理課長 石田 和敏 (内線3311)
○技術管理課長補佐 門田 隆志 (内線3314)
○道路構造保全官 田島 基彦 (内線4122)
※○：主たる問い合わせ先

総合評価落札方式における加算点、施工体制評価点の判定結果表

工 事 名： (簡易型)

技術資料提出期限：平成 年 月

評価点合計(満点)：155点

設定加算点(満点)：30点

No.	業 者 名	加 算 点																	施工体制評価点			加算点 + 施工体制 評価点 (B+C)					
		判定結果																	A 加算点 (小数位1桁 (2位四捨五入)) ④に対する 相対評価 換算 (有) 無 満 点 30点	B 施工体制 評価点の 獲得割合を 乗じた最終加算 点 (小数位1 桁(2位四 捨五入)) A×C/30	品質 確保の 実効性		施工 体制 確保の 確実性	C 施工体制評 価点合計			
		簡易な施工 計画評価		技術者評価					企業評価																		
		施工上 配慮すべき 事項の 小計 ①	C P D	配置予定技術者評価				小計 ②	基本企業評価					その他企業評価											小計 ③	評価点 合計 ①+②+③ ④	
				同種 類似 工事 の 経験	工事成績	優良 技術 者 表彰	鋼橋製作 実績 技術者の 活用		施工 実績等 評価	地域精 通度・ 地域貢 献度・ 社会性	災害時 等の 対応	地理的 条件評 価	情報化 施工 技術 評価	登録基 幹技 能者 評価													
															近 隣地 域で の施 工実 績	地域 貢献 等	事故及び 不誠実 な行 為等 に 対 する 評 価	災害 時の 事業 継続 力									地域内 での 拠 点
工事 に係 る表 彰	工事 に係 る表 彰																		工事 に係 る表 彰	工事 に係 る表 彰	工事 に係 る表 彰	工事 に係 る表 彰	工事 に係 る表 彰	工事 に係 る表 彰			
20	20	5	10	30	5	5	55	30	5	10	10	-30	55	5	5	5	10	5	5	35	90	165					
1																											

鋼橋製作実績
評価を追加